

【研究職】上席研究員、グループリーダー等課長級として採用する場合

審査基準
【研究能力・実績の観点】 ・研究テーマを自ら立案する能力（特に研究グループの取りまとめや若手の指導を通じて研究成果に結びつけた実績があれば考慮する） ・筆頭論文に加え、責任著者・共著者の論文や特許出願の有無及びその内容（分野を牽引する重要論文や成果があれば特に考慮する） ・大型プロジェクト／装置／施設に係る重要な研究・技術開発を担ったエビデンスとなるレポート等の有無及びその内容 （外部資金（下記外部資金獲得実績に該当するもの）に基づく研究成果も考慮する。） 【外部資金獲得実績の観点】 ・研究代表又は研究分担による外部資金獲得実績（金額の多寡のみならず、特に科学研究費補助金における基盤 B 以上の研究代表、大型受託研究や新学術領域の代表又は機関代表など、研究グループの取りまとめ実績を重視する。） 【専門分野でのプレゼンスの観点】 ・国際会議における招待講演の有無や座長、プログラム委員、アドバイザリーボード等の経歴の有無及びその内容 ・国内学会における年会等のプログラム委員、専門委員会委員等の経歴の有無及びその内容 ・国内外の研究機関や行政機関との連携の取りまとめや共同研究の実績の有無及びその内容 ・国際的な調達取決めを締結に導いた実績の有無及びその内容 【研究支援業務、人材育成等の観点】 ・所属組織の管理・運営部門又は研究支援部門等における勤務や行政機関等への出向時の実績 ・若手研究者や博士研究員等の指導経験の有無及びその内容 ・アウトリーチ活動への貢献の有無及びその内容